

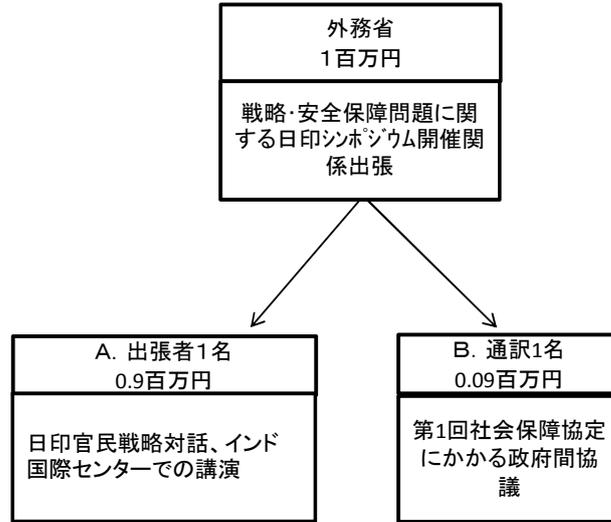
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	戦略・安全保障問題に関する日印シンポジウム開催経費		担当部局	アジア大洋州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始 ・平成22年度終了		担当課室	南西アジア課		課長 田島 浩志		
会計区分	一般会計		施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第四条第一項		関係する計画、 通知等	日印戦略的グローバル・パートナーシップ				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	戦略・安全保障問題に知見を要する我が国及び米国、中国の民間有識者及びインドの有識者との間で、アジアの地域統合の過程における日印米中の果たすべき役割及び協力の方途について議論する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	戦略・安全保障問題に知見を要する我が国及び米国、中国の民間有識者をインドに派遣し、インドの有識者との間で、アジアの地域統合の過程における日印米中の果たすべき役割及び協力の方途について議論するシンポジウムを開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	4	4	3	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	4	4	3	-	-	
	執行額	0	0	1				
	執行率(%)	0%	0%	35%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	戦略・安全保障問題に関するシンポジウムの参加者数	成果実績	参加者数	0	0	20	-	
		達成度	%					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	戦略・安全保障問題に関するシンポジウムの開催	活動実績	開催数	0	0	1	-	
		(当初見込み)					()	
単位当たり コスト	旅費893,000円/1人		算出根拠	旅費893,000円/1人				
平成 23 年度 予算 内訳 (単位: 千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	派遣人数の削減等のため不用率が大きくなった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	通訳経費に関して、年度途中に急遽開催が決定した日印社会保障関連協議に一部充当した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	△	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>●22年度においては、諸般の事情により予定していたシンポジウムを実施することができなかったが、国際政治学を専門とする有識者をインドで開催された官民会議に派遣し、アジア太平洋地域の戦略環境につき突っ込んだ意見交換を行った他、欧州と東アジアにおける地域協力に関する講演を行った。なお、派遣旅費については格安航空券を使用して経費節減に努めた。</p> <p>●本件シンポジウムの通訳経費に充当予定であった在外謝金に関して、22年10月に交渉が完了した日印包括的経済連携協定(EPA)における合意を受け、23年1月にデリーで開催された日印社会保障関連協議の通訳経費に充当した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
23年度概算要求策定時に予算監視・効率化チームから事業廃止を指導され、22年度限りで廃止した。			

* 22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 出張者1			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	日印官民戦略対話、インド国際センターでの講演に出席	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者	日印官民戦略対話、インド国際センターでの講演に参加するための旅費	0.89		
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	日印社会保障協定にかかる政府間協議通訳謝金	0.09		
2					
3					